

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			法令で定められている広さは十分にあり、必要に応じて対応できる個室を設けている
	2	職員の配置数は適切であるか	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			段差が少なく、トイレ内手すりを設置。車いすの方が通れるドアの開口間に改修済み。送迎者2台は福祉車両導入
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			月報を使用し日々の報告、連絡を行い、毎月の会議での振り返りを共有。分掌事務分担で広く職員が携わっている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			自己評価のみならず、保護者向けアンケートを実施している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			保護者へ結果を書面にて配布し、事業所SNS及び法人ホームページで多くの方が見られるように公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7			法人内の他事業所間での相互監査を実施。施設一般開放で協力してくださった外部の方に施設評価をお願いしている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			事業計画で、毎月事業所内研修を実施している。その他国、県以外の外部研修も積極的に受講している。さらに盛岡広域圏の事業所と連携して自主学習会の開催を行っている
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			個別支援計画作成に支援者全員が携わり、利用者と保護者のニーズを踏まえ、課題を捉え、必要な支援が出来るように取り組んでいる
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			標準化されたアセスメントシートの活用と、特性に応じたアセスメント、保育の5領域に沿ったアセスメントを活用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			年間計画、月間計画の立案に全職員が関わっている。さらに細分化として、活動担当職員を置き内容やねらいを定めて共有している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			年間計画が作成され、毎月の予定表に様々な活動が出来るよう、利用者の特性に応じたアレンジを行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		天候に応じた屋外活動の設定や、買物体験、などの社会資源の活用を積極的に取り入れている

へ 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			個別支援計画に沿って個別の活動を取り入れ、予定表に合わせて集団での活動を実施している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			日々のミーティングや日報、会議で共有している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		勤務時間が同一では無い為、終了後は日報の活用で振り返りと残っている職員間での共有は行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			記録に関しての研修を行い、伝わりにくい曖昧な表現があった際は、職員間で指摘し明確に検証、記録をとって改善している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			毎月の会議時に利用者状況として振り返りを行いながら、各利用者の状況に合わせたモニタリングを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			ガイドラインに沿った活動の組み合わせを行っている
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			児童発達管理責任者が参加している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			年間行事予定表や各月の予定表を各学校より頂いている。下校時の引き継ぎや連絡協議会に参加し情報共有を行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7			ガイドラインを策定し、主治医より意見書、指示書を取り交わしている。各利用者ごとにフローチャートを作成し、連絡調整が取れるようになっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1		今年度は対象者無。必要に応じて情報共有は常時できる状況。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2		今年度は対象者無。必要に応じて情報共有は常時できる状況。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			各機関との連携は常時できる状況。助言を参考とさせていただき、研修には参加済み
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	2		相手を指定せず障がいのない子供との活動を施設一般開放として関わりを持っている
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	7			参加済み
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時の引継ぎや連絡帳の活用を行い、おたよりやSNSにて発信している。常時、事業所内相談を受け入れている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			実施している	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			連絡帳や送迎時の引継ぎ時、電話連絡等で相談があった際は答えている。また保護者のサロンの場を開催し、子育ての悩みを保護者同士でも気軽に話せる場を設定している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1		父母会はないが保護者のサロンの場や懇談会の場を開催している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情解決の仕組みを策定し、フローチャートで契約時に配布している。対応の体制強化として苦情解決のセミナーや研修に積極的に参加している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			毎月おたよりを発行し配布している。またSNSを通じて発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	7			個人情報同意書を契約時に取り交わし、毎月確認を行っている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			一人ひとりに合った絵カードや口頭、単語、フローチャート等を活用し、意思疎通に努めている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			施設一般開放を行い、地域住民が参加できる場を設定している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			マニュアルを策定し、常時閲覧できる状況にしている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			マニュアルを策定し、年間で計画を作成し、毎月避難訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			虐待防止委員会の設置を行い、虐待防止に関する研修を実施している。また、未然に防ぐために施設一般開放し、施設職員の支援、接遇を外部評価して頂いている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			重要事項説明、契約書に記載している。身体拘束適正化についてマニュアルを作成している。個別支援計画にも記載して同意を得ている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		アレルギーの有無に関して聞き取りを毎年実施している。医師の指示が必要な対象者無
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			毎月の会議時に共有している